

杉本昭典氏文書(4) 概要

- 1:文書群番号 060007
- 2:文書群名 杉本昭典氏文書(4)
- 3:出所 杉本由兵衛氏(所蔵者父)・杉本昭氏(同兄)
- 4:家業・役職等 -
- 5:地名 尼崎市金楽寺/尼崎市金楽寺町ほか
- 6:行政区分 尼崎市
- 7:歴史 (1)日中戦争後、政府は防空訓練、食糧・兵器の増産等において、国民精神総動員運動を徹底するため、町内会・部落会のもと各戸を隣保に組織化した。これにより5~10戸で1隣保、数隣保で1隣保組(町内会)とされた。昭和15年(1940)1月の兵庫県への報告によれば、尼崎市では437の隣保組と2877の隣保が結成されている。(2)昭和25年、当時賠償指定工場であった北難波の住友金属プロペラ製造所跡に占領軍の特殊車両整備工場が設置され、その後さらに駐留米軍神戸補給廠の兵力・施設が神戸港から移転した。これにともない、隣接する市民グラウンドの一部提供を米軍が希望したことから、地元住民による反対運動が起こり、昭和27年8月、金楽寺・大物などの地元住民団体が「駐留軍キャンプ設置反対促進協議会」を結成した。反対運動に加えて市議会の反発もあり、結局米軍への提供区画は市民グラウンドの南側から東側に変更され、昭和30年1年間の資材集積場としての利用にとどまった。
- 8:伝来 (1)は杉本昭典氏の父由兵衛氏が戦中記録したもので、(2)は昭典氏の兄昭氏が地域住民・青年団による米軍駐留反対運動に関わった関係で入手・綴ったものである。(1)(2)とも昭典氏が昭氏宅で見出し、史料館に預けられた。平成22年3月に整理・目録作成を完了、同月寄贈を受けた。
- 9:史料入手先 杉本昭典氏
- 10:点数 2点(目録件数2件)
- 11:年代 昭和17年(1942)~23年、同27年~28年
- 12:構造と内容 本文書群は、(1)戦中期の尼崎市金楽寺第一町内会(第2組6隣保)の常会日誌と、(2)戦後の駐留軍キャンプ設置反対促進協議会資料綴りの2点からなる。(1)昭和17年9月から19年12月にかけての各月常会における伝達・協議事項が記されている。また巻末に23年現在の金楽寺第一衛生組合各戸名簿がある。(2)は、昭和27年7月29日より28年5月頃までの、駐留軍キャンプ設置反対促進協議会による市民グラウンド提供反対決議書・陳情書・委員会開催記録、および市議会渉外特別委員会経過概略、新聞スクラップなどが綴られている。
- 13:関連史料 杉本昭典氏文書(1)・(2)・(3)、杉本昭典氏収集労働組合関係資料ほか
- 14:閲覧条件 原本
- 15:作成者 松迫寿代